1．教育計画　　小児看護学

分野	専門分野　小児看護学	科目名	健康な子どもと家族の理解
単位・時間	1 単位・30 時間	対象学年	２年生
方法	講義、演習、グループワーク	時期	後期
講師名 （担当授業時間数）	専任教員　穂積　真澄（28 時間）		
講師の実務経験	看護師として星総合病院に６年		
学習目標	Ⅰ．小児各期の成長・発達の特徴を理解し、小児及びその家族に必要な看護を学ぶ。 Ⅱ．小児看護に必要なアセスメント方法を学ぶ。		
成績評価方法	筆記試験 100 点 ※出席状況・態度面なども評価対象とする。		
使用テキスト＊購入	医学書院：小児看護学[Ⅰ]小児看護学概論・小児臨床看護総論 インターメディカ：写真でわかる小児看護技術		
参考文献＊非購入	中央法規：小児Ⅰ　看護観察のキーポイントシリーズ 小児Ⅱ　看護観察のキーポイントシリーズ オーム社：看護系標準教科書　小児看護学		
履修上の留意	「子どもの健やかな成長と発達」の学習内容を復習し、授業に臨むこと。		
講師からのメッセージ	小児看護の対象である子どもの理解を深めるためには、成長・発達の特徴を学ぶことが欠かせません。そこで小児各期にある子どもの成長・発達や家族の特徴、必要な看護について学習し、子どもの全体像を描いていきましょう。また小児看護において、常に子どもの発達段階を考慮したアセスメントが求められます。子どもと家族に何が起きているのか、何を必要としているのかを考え行動できる、幅広い視点を持てるよう学習していきましょう。		

2．授業計画

回	時間	主題	授業内容	形態	備考
1	2	小児期の成長発達	「子どもの健やかな成長と発達」振り返り	講義	穂積
2	2	新生児期の特徴と看護	新生児期の形態的特徴、身体生理の特徴、各機能の発達、新生児の養育および看護	講義 GW	穂積
3	2			講義	穂積
4	2	乳児期の特徴と看護	乳児期の形態的特徴、身体生理の特徴、感覚機能、運動機能、知的機能、コミュニケーション機能、情緒･社会的機能、乳児の養育および看護	講義 GW	穂積
5	2			講義	穂積

回	時間	主題	授業内容	形態	備考
6	2	幼児期の特徴と看護	幼児期の形態的特徴、身体生理の特徴、感覚機能、運動機能、知的機能、コミュニケーション機能、情緒･社会的機能、日常生活、幼児の養育および看護	講義 GW	穂積
7	2			講義	穂積
8	2	学童期の特徴と看護	学童期の形態的特徴、身体生理の特徴、感覚･運動機能、情緒･知的機能、日常生活、社会的機能、不適応行動･症状、子どもを取り巻く諸環境、学童の養育および看護	講義 GW	穂積
9	2			講義	穂積
10	2	思春期の特徴と看護	思春期の形態的特徴、生理的特徴、知的･情緒的･社会的機能、生活の特徴、心の問題、飲酒・喫煙、性に関する健康問題、反社会的･逸脱行動、事故･外傷、思春期の看護	講義 GW	穂積
11	2			講義	穂積
12	2	小児看護に必要な アセスメント技術	1．小児看護のアセスメントに必要な技術 コミュニケーション、バイタルサイン、身体測定 2．身体的アセスメント 一般状態、眼、耳、顔面･鼻･口腔、呼吸、心臓･血管系、腹部、筋･骨格系のアセスメント、神経系、生殖器のアセスメント、リンパ系、皮膚･毛髪･爪のアセスメント	講義 GW	穂積
13	2			講義 演習	穂積
14	2			講義 演習	穂積
15	2	評価	筆記試験	試験	穂積